

## F 研究企画・調整・情報システム・出版・広報

### 1. 研究の企画・調整・評価

#### (1) 農業研究本部場長会議

##### 1) 第1回農業研究本部場長会議

期日：令和4年5月9日(月) 13:30～

場所：Zoom 接続によるリモート開催

議題：

##### ①協議事項

(なし)

##### ②報告事項

- ・令和4年度北海道農業試験会議（新規課題検討会議）の開催について
- ・研究成果刊行物について
- ・令和4年度研究職員研修等について
- ・令和4年度農業新技術発表会ポスター賞について
- ・令和4年度公開デー等への対応について
- ・安全衛生管理について

##### ③その他

(なし)

#### 2) 第2回農業研究本部場長会議

期日：令和3年6月9日(木) 15:15～

場所：農政部大会議室

議題：

##### ①協議事項

(なし)

##### ②報告事項

- ・令和5年度新規課題設定に係る検討経過について
  - ・令和4年度開始公募型研究課題の応募・採択状況について
  - ・第1回新たな研究方向WGの開催結果について
  - ・地域農業技術支援について
  - ・年度計画に係る自己点検・評価について
  - ・農業研究本部における独自研修の実施概要について
  - ・令和5年度採用試験結果について
  - ・安全衛生管理について
- ##### ③その他
- ・「ピアカフェ」について

#### 3) 第3回農業研究本部場長会議

期日：令和4年9月26日(月) 13:30～

場所：Zoom 接続によるオンライン開催

議題：

##### ①協議事項

- ・令和5年度経常研究費に係る新規課題予算について

##### ②報告事項

- ・第4期中期計画に向けた農業研究本部の対応について
- ・令和4年度農業研究本部保留額の配分方針及び令和5年度当初予算（一般管理費）について
- ・令和4年度農業研究本部場別試験研究費について
- ・職員研究奨励事業の募集について
- ・農業研究本部長表彰について
- ・インターンシップについて
- ・職員採用試験について
- ・令和4年度下半期の主な予定について

##### ③その他

(なし)

#### 4) 第4回農業研究本部場長会議

期日：令和4年11月7日(月) 13:30～

場所：かでの2.7 920 会議室

議題：

##### ①協議事項

- ・第2回研究部長会議の開催について

##### ②報告事項

- ・農研本部長表彰のスケジュールについて
- ・事故防止・安全対策について

##### ③その他

(なし)

#### 5) 第5回農業研究本部場長会議

期日：令和5年1月19日(木) 15:30～

場所：Zoom 接続によるオンライン開催

議題：

##### ①協議事項

- ・「革新的技術導入による地域支援」の終了課題について

##### ②報告事項

- ・農研本部長表彰について

##### ③その他

- ・個人情報の取扱について
- ・リスクアセスメントについて

#### 6) 第6回農業研究本部場長会議

期日：令和5年3月20日(月) 13:30～

場所：かでの2.7 1070 会議室

議題：

①協議事項

・「革新的技術導入による地域支援」(経常(各部))の進行状況について

- ・令和5年度農業研究推進事業について
- ・トラクターの更新について

②報告事項

- ・令和4年度農業研究推進事業について
- ・令和4年度試験研究用備品の導入実績および今後の予定について
- ・第4期中期計画に向けた農業研究本部の対応について
- ・公募型研究課題の令和4年度採択結果および令和5年度応募・採択状況について
- ・令和5年度の新規実施課題について
- ・地域農業技術センター連絡会議(NATEC)の活動状況について
- ・令和4年度施設等整備の実績及び令和5年度以降の予定について
- ・令和5年度の主な日程(案)について

③その他

(なし)

(2) 研究調整会議

1) 第1回研究調整会議

期日：令和4年4月22日(木) 13:00～15:30

場所：中央農試講堂

①協議事項

・令和4年度北海道農業試験会議(新規課題検討会議)の開催について

- ・設計会議概要書印刷に係る場別予算負担について

②報告事項

- ・第4期中期計画に向けた農研本部の対応について
- ・地域農業技術支援について
- ・令和4年度地域要望課題の概要について
- ・経常研究に係る令和4年度終了課題について
- ・畜産試験場における豚の育種研究について
- ・研究課題評価資料作成に係る農研本部としての対応と留意点等について
- ・外部資金について
- ・重点研究のあり方および研究評価項目の見直しについて
- ・職員研究奨励事業について
- ・研究開発推進費について

・令和4年度の主な日程について

③その他

(なし)

2) 第2回研究調整会議

期日：令和4年6月20日(月) 13:00～

場所：中央農試講堂

①協議事項

・令和5年度の新規課題検討及び調整について

②報告事項

- ・令和3年度研究課題事後評価(経常研究等)の結果について
- ・令和4年度実施課題における優先研究課題実施項目と課題別目標について

③その他

(なし)

3) 第3回研究調整会議

期日：令和4年8月26日(水)10:30～17:35、8月27日

(木)9:00～15:10

場所：中央農試講堂

①協議事項

・令和5年度新規課題に係るヒアリング

②報告事項

(なし)

③その他

(なし)

4) 第4回研究調整会議

期日：令和4年9月16日(金) 13:00～

場所：中央農試講堂

①協議事項

・令和5年度経常研究費に係る新規課題予算について

②報告事項

- ・第4期中期計画に向けた新たな研究方向について
- ・職員研究奨励事業の募集について
- ・研究開発推進費の応募経過について

③その他

(なし)

5) 第5回研究調整会議

期日：令和4年10月17日(月) 13:00～

場所：中央農試講堂

①協議事項

・令和4年度北海道農業試験会議(成績会議)の開催日

程（案）等について

- ・令和4年度成績会議に向けた対応について
- ・第4期に向けた農研本部実施項目の検討について

②報告事項

- ・農業研究推進事業について

③その他

(なし)

6) 第6回研究調整会議

期日：令和4年12月14日(水) 13:00～

場所：Zoom 接続によるリモート開催

①協議事項

- ・令和4年度北海道農業試験会議（設計会議）に向けた対応について
- ・「革新的技術導入による地域支援」の終了課題について
- ・農業研究推進事業における課題提案について

②報告事項

- ・令和4年度北海道農業試験会議（成績会議）の運営等について
- ・令和5年（第41回）農業新技術発表会の開催について
- ・農業資材試験及びイノベーション創出強化事業における企画関連事務費について

③その他

(なし)

7) 第7回研究調整会議

期日：令和5年2月20日(月) 13:00～

場所：中央農試講堂 & Zoom ハイブリッド開催

①協議事項

- ・「革新的技術導入による地域支援」（経常(各部)）の進行状況について
- ・新規課題検討会を経なかった新規課題（受託試験研究課題等）の検討について
- ・次年度の成績会議に向けて
- ・成績会議に係る事前検討会への普及指導員の対応について

- ・第4期の優先研究課題・実施項目（たたき台）について
- ・令和5年度農業研究推進事業について

②報告事項

- ・令和4年度農業研究推進事業について
- ・令和4年度設計会議及び研究課題評価（中間・事後）に向けて
- ・令和4年度追加課題の課題別目標について
- ・公募型研究課題の令和4年度採択結果および令和5年度応募・採択状況について

- ・「課題対応型支援に対する農業研究本部の運用方針」の改正について

③その他

- ・種雄牛外部資金、中小家畜研究に係る進捗状況について

(3) 北海道農業試験会議

1) 研究課題検討会議

○ 北海道農業技術推進委員会において決定された重点的研究推進方針に基づき、令和5年度新規提案課題について検討し、農業研究本部として自己点検評価（事前評価）を行った。

部会の開催日程及び検討課題数

部会	日程	会場	課題数
作物開発	R4.7.4	プレスト1.7 ABCD会議室	10(2)
生産技術	R4.7.5	プレスト1.7 ABCD会議室	14(10)
畜産	R4.6.30～7.1	畜試 講堂	23(6)
病虫	R4.7.4	かでの2・7 820研修室	7(4)
農業システム	R4.7.5	かでの2・7 820研修室	6(2)

※括弧内の数値は、検討課題数の内、新規課題数である。

2) 成績会議

各部会に提出され検討した課題について、総括会議で新農業技術として判定された結果は次のとおりであった。本会議における検討は、今年度終了課題における農業研究本部としての自己点検評価（事後評価）にも活用した。

		普及 奨励	普及 推進	指導 参考	研究 参考	行政 参考	保留 成績	完了 成績	合計
作物 開発	計	6	0	22	0	0	0	0	28
	(品種)	(6)	(0)						
生産 技術	計	0	1	14	0	0	1	0	16
	(品種)								
畜産	計	3	2	1	1	0	0	0	7
	(品種)	(3)	(2)						
病虫	計	0	1	85	0	0	0	0	86
	(品種)								
農業 システム	計	0	0	5	0	2	0	0	7
	(品種)								

3) 設計会議

北海道における農業関係試験研究機関が行う試験研究

課題について、令和5年度の設計を決定するための専門部会を令和5年3月6日～3月10日にわたりWebにより開催した（秋まき小麦設計会議は8月29日、てん菜分科会は2月21日に開催）。各部会に提出された検討課題数は、次のとおりであった。本会議における検討は、農業研究本部における自己点検評価（中間・事後評価）にも活用した。

部会	分科会	課題数
作物開発	秋播小麦	24
	てんさい	24
	稲	21
	豆類	74
	麦類・特用作物	26
	除草剤	3
	馬鈴しょ	51
	果樹・野菜	19
	生産技術	96
	畜産	95
	病虫	55
農業システム	30	
合計		518

#### (4) 地域農業技術センター連絡会議 (NATEC)

##### 1) 令和4年度 第1回幹事会

日時：令和4年6月2日

場所：メールによる書面開催

参加者：14名 会長、副会長、幹事、監事、事務局

議事：新年度役員の紹介、会員の動向、令和4年度研究情報交換会（栗山町他）の開催について、等

##### 2) 令和4年度 研究情報交換会

日時：令和4年9月6日（火）14:00～16:30（研究情報交換会）

日時：令和4年9月7日（水）10:00～11:30（現地視察）

場所：長沼町（長沼町民会館大集会室）、栗山町（N-GRITS 工場、栗山町マルチコーン圃場）

出席者：68名 地域農業技術センター、農業関係団体、道総研農業試験場等

内容：

「研究情報交換会」

第1部 地域農業技術センターの活動報告

・『全国初』JA 共同乾燥施設を含めた GLOBALG.A.P. 団体認証取得への取組みと農業振興センターの役割

新篠津村農業振興センター 小田島浩行氏

・岩見沢市農業技術情報施設の取組について

岩見沢市農業技術情報施設 西飯弘行氏

・洞爺湖町農業研修センターの取組みについて

洞爺湖町農業研修センター 福島志保美氏

第2部 話題提供

・米政策見直しに対応した北海道の水田農業について  
北海道農政部農産振興課 黒田晋司氏

・「BISTRO 下水道」を基軸とした、資源循環型農業へのご招待

岩見沢市農政部農業基盤整備課 齋藤貴視氏

・道産コーンウイスキープロジェクトの取り組み

道総研本部研究戦略部企画G 清水茂雅氏

「現地視察」

・N-GRITS 株式会社

・マルチコーン圃場見学

##### 3) 令和4年度 第2回幹事会

日時：令和5年1月30日

場所：メールによる書面開催

参加者：14名 会長、副会長、幹事長、幹事、監事、事務局

・議事：令和4年度定期総会議案審議

##### 4) 令和4年度 定期総会

日時：令和5年2月9日

場所：メールによる書面開催

参加者：会員、会長、副会長、幹事長、幹事、監事、事務局

議事：令和4年度事業実績及び収支予算、令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）について、令和5年度役員の改選（案）について等

##### 5) 令和5年度 研究交流会

日時：令和5年2月15日（水）13:30～16:15

場所：オンライン開催

参集範囲：NATEC 会員、北海道農政部、道総研農業研究本部、農業関係機関等

内容：

〈講演〉

テーマ「肥料危機を持続可能農業への転換好機に変える」

・「施肥量適正化の視点—コスト・養分収支の観点を強化した施肥基準に見直しを」

ホクレン農業協同組合連合会 特任技監 志賀弘行氏

・「水稻の施肥量はどこまで減らせるか」

道総研上川農業試験場生産技術グループ 研究主幹 後藤英次氏

・「畑作園芸の施肥量はどこまで減らせるか」

道総研十勝農業試験場生産技術グループ 研究主任 石倉究氏

- ・「施設園芸の施肥量はどこまで減らせるか」

道総研十勝農業試験場生産技術グループ 主査 坂口雅己氏

- ・「草地飼料作の施肥量はどこまで減らせるか」

道総研酪農試験場天北支場地域技術グループ 主査 岡元英樹氏

## 2. 情報システムの活用

### (1) 道総研農業研究本部のホームページ（農業技術情報広場）の管理

各ページ作成、更新を行った。また、広く道民に対し、関係イベントの周知や研究成果の公開等、情報発信を行った。

### (2) 中央農試ホームページの作成・更新

入札情報や公開データ情報など、広く道民に対して場業務等の情報公開や研究成果の公開等、情報発信を行った。

## 3. 図書・資料

### (1) 受入状況（冊）

資料名	購入	寄贈	合計
単行本（国内）	0	34	34
単行本（外国）	0	0	0
逐次刊行物（国内）	254	258	512
逐次刊行物（外国）	90	6	96

### (2) 資料提供

室外貸出 132件

## 4. 印刷刊行物

資料名	発行年月	頁数	部数	
令和4年度北海道農業試験会議議事概要	令和4年度成績会議	R5.2	69	pdf配布
令和4年度北海道農業試験会議議事概要	令和5年度設計会議	R5.3	137	pdf配布
北海道立総合研究機構農業試験場集報第107号		R5.3	55	250

## 5. 広報活動

### (1) 令和4年度中央農業試験場公開デー【中止】

新型コロナウイルス感染症まん延防止のため中止

### (2) 2022 サイエンスパーク

- ・日時：令和4年7月11日(月)～8月31日(水)
- ・場所：会場形式（札幌：フカホ、アカプラ、エムプラザ）、  
オンライン形式（北海道のホームページ）※
- ・主催：北海道、道総研
- ・参加：農研本部（中央農試 加工利用部・農業システム部、企画課）
- ・内容：[動画] 豆腐の「かたさ」を測ってみよう  
数種の市販「豆乳」で豆腐を作り硬さの比較  
[動画] 黒豆と〇〇〇を一緒に煮ると色が・・・  
黒豆を煮たときの色の変化を観察  
※農研本部は、オンライン形式により科学実験の動画  
2点を出展

### (3) ビジネス EXPO「第37回北海道技術・ビジネス交流会」

- ・日時：令和4年11月10日(木)～11日(金)
- ・場所：アクセスサッポロ
- ・主催：北海道技術・ビジネス交流会実行委員会
- ・参加：農研本部（北見農試、畜試、企画課）
- ・内容：ばれいしょ「さらゆき」、「ゆめいころ」及び  
「北海地鶏Ⅱ」の研究成果 PR と農研本部の紹介

### (4) 2022 アグリビジネス創出フェア in Hokkaido

- ・日時：令和4年11月9日(水)～10日(木)
- ・場所：サッポロファクトリー（アトリウム会場）
- ・主催：農林水産省技術会議事務局研究推進課  
NPO 法人グリーンテクノバンク
- ・共催：農研機構北海道農業研究センター、道総研
- ・参加：農研本部（中央農試、北見農試、企画課）
- ・内容：おうとう「陽まり」、ばれいしょ「さらゆき」、「ゆめいころ」の研究成果 PR と農研本部の紹介

### (5) 令和5年道央圏農業新技術発表会

- ・日時：令和5年2月27日(月)～5月31日(水)
- ・方式：WEB形式（ホームページ掲載、YouTube 動画）
- ・主催：中央農業試験場
- ・口頭発表（YouTube 動画）

① たくさん穫れて病気にも強い！ お米新品種「空育195号」

中央農試 水田農業部 水田農業G 山下 陽子

② 搾油粕を飼料に使える！ なたね新品種「ペノカのしずく」

農研機構 北海道農業研究センター 寒地畑作研究領域 畑作物育種G 大塚 しおり

③ パイプハウスの統合環境制御でトマトをたくさんとろう！

上川農試 研究部 生産技術G 古山 真一

④ 雑草を抑えて収量も安定 秋まき小麦有機栽培のコツ

中央農試 農業環境部 生産技術G 小谷野 茂和

⑤ 受光効率を高め 秋まき小麦を安定して穫る

中央農試 農業環境部 生産技術G 杉川 陽一

⑥ 赤色LEDで暑さにまけない花づくり ～トルコギキョウの品質アップ

花野菜センター 研究部 花き野菜G 大宮 知

⑦ コナガの薬剤感受性低下とキャベツの被害を同時に防ぐ

中央農試 病虫部 予察診断G 下間 悠士

⑧ これからのリンゴ黒星病防除 ～薬剤耐性菌への対応

中央農試 病虫部 予察診断G 森 万菜美

⑨ どうなる？ 農家戸数と多様な担い手の役割

十勝農試 研究部 農業システムG 渡辺 康平

⑩ 除草機を上手く使おう！ 水稻有機栽培

中央農試 農業システム部 農業システムG 原 圭祐

⑪ 令和5年に特に注意を要する病虫害

中央農試 病虫部 予察診断G 小澤 徹

・ポスター発表（ホームページ）※口頭発表①～⑪を含む。

⑫ 北海道の新顔野菜さつまいも 加工時の特徴は？  
貯蔵中の変化は？

花野菜センター 研究部 生産技術G 野田 智昭

⑬ 本当はこんなに大きくなる道産にんにく！～新検査法と防虫ネットでウイルスから守る

花野菜センター 研究部 生産技術G 佐々木 純

⑭ 衛星画像を使った作条の可変施肥でキャベツの生育が揃います

十勝農試 研究部 農業システムG 関口 建二

⑮ 乳牛のエサ設計に役立つ ～粗飼料のデンプン・繊維消化率の推定

畜試 畜産研究部 生産技術G 角谷 芳樹

⑯ 土塊を減らし種いもの使用量を減量するバレイショ防除畦の改良

農研機構 北海道農業研究センター 寒地畑作研究領域 スマート畑作G 辻 博之、朱里 勇治

- ⑰ 雌穂利用が期待できる飼料用トウモロコシ新品種「北交 97 号」  
農研機構 北海道農業研究センター 寒地酪農研究領域 自給飼料生産G 黄川田 智洋
- 酒米品種の育種状況（食味・耐病性等）について紹介。  
・対応者：中央農試 水田農業部 水田農業G 主査 西村 努
- (6) 報道等
- ① 日本農業新聞 令和 4 年 4 月 20 日  
・内容：北海道などは、小麦なまぐさ黒穂病対策について道総研の研究成果等を基に発病リスクを低減する防除対策の情報を追加し冊子として公表。  
・対応者：中央農試 病虫部 予察診断G 主査 小澤 徹
- ② 日本経済新聞 令和 4 年 4 月 26 日  
・内容：【SDGs/CSR Frontier】地球温暖化による北海道農業への影響と課題  
・対応者：中央農試 農業環境部長 小野寺 政行
- ③ 日本農業新聞（北海道面） 令和 4 年 7 月 11 日  
・内容：コーングリッツ入りソフトクリームの販売に関する記事。JAそらち南が道総研との共同研究によりコーングリッツの食用化が実現し、販売に至ったことについて紹介。  
・対応者：JA等関係者のコメントにつき取材なし
- ④ 北海道新聞 令和 4 年 7 月 24 日  
・内容：【味力探訪】滝川の菜の花畑  
道内 4 農業試験場では、ナタネの品種登録前の栽培試験が行われていることを紹介。  
・対応者：中央農試 遺伝資源部 遺伝資源G 研究主幹 鈴木 和織
- ⑤ 北海道新聞 令和 4 年 9 月 10 日  
・内容：【サタデーどうしん】”大地と海から”道産米の食味向上に向けた品種開発の歴史と生産者や農業団体の取り組みについて紹介。  
・対応者：中央農試 水田農業部長 五十嵐 俊成
- ⑥ 北海道新聞 令和 4 年 10 月 16 日  
・内容：余市町が代表産地の「千両梨」は、寒さに強く道内の気象条件に適している（「日本なし」の栽培には適していない）ことについて紹介。  
・対応者：中央農試 作物開発部 作物G 主任主査 吉田 昌幸
- ⑦ 日本農業新聞 令和 4 年 11 月 16 日  
・内容：「赤毛米」が北海道遺産に登録されたことから、米の歴史や北広島市商工会が道総研からの購入種子による取組み等について紹介。  
・対応者：生産者等のコメントにつき取材なし
- ⑧ 北海道新聞 令和 5 年 1 月 11 日  
・内容：道内の酒米生産者交流会において中央農試から
- ⑨ 日本農業新聞 令和 5 年 2 月 3 日  
・内容：北海道内の農業試験場が開発した作物の新品種候補（水稻「空育 195 号」、小豆「十育 180 号」、いんげん「十育 A 6 4 号」など）について紹介。  
・対応者：北海道による公表につき取材なし
- ⑩ 日本農業新聞 令和 5 年 2 月 8 日  
・内容：北海道内の農業試験場（農研機構、道総研）が開発した新品種・新技術について、道農政部から道議会農政委員会に報告がなされた。  
・対応者：北海道による公表につき取材なし
- ⑪ 日本農業新聞 令和 5 年 2 月 16 日  
・内容：北海道優良品種認定審査会において、中央農試が開発した「空育 195 号」が優良品種として認定される答申がなされた。  
・対応者：北海道による公表につき取材なし
- ⑫ 北海道新聞 令和 5 年 2 月 16 日  
・内容：北海道優良品種認定審査会が開催され、普及すべき農作物の優良品種として、小豆「十育 180 号」、水稻「空育 195 号」など 9 品種の認定と、14 品種の認定取消について、知事の諮問に「異存なし」と答申することを決めた。  
・対応者：北海道による公表につき取材なし
- ⑬ 農家の友 2023 年 3 月号  
・内容：中央農試遺伝資源部が担う遺伝資源の保存管理業務および基本種子の生産管理業務について、沿革や意義、実際の業務内容を紹介。  
・対応者：中央農試 遺伝資源部長 神野 裕信、同部 遺伝資源G 主査 植野 玲一郎
- ⑭ 北海道新聞 令和 5 年 3 月 1 日  
・内容：北海道農政部主催の「水稻低コスト・省力化生産技術研修会」が 2 月 28 日、北大学術交流会館で開催され、生産者や自治体の職員ら約 250 人が参加した。基調講演の後、中央農試の研究成果の発表では、直播栽培やスマート農業技術など米づくりの省力化について紹介。  
・対応者：中央農試 水田農業部 水田農業G 研究主任 山下 陽子、同農試 農業システム部 農業システムG 主査 山田 洋文
- ⑮ 北海道新聞 令和 5 年 3 月 8 日  
・内容：道は、外食など業務用米としての利用が多い「き

らら 397」について後継品種への転換に取り組む。  
後継となる「空育 195 号」は、中央農試が平成 26  
年(2014 年)から開発に取り組み、収穫量が「きら  
ら 397」より約 2 割多く、いもち病への抵抗力が  
強い新品種。本年、道の優良品種に認定され、農  
業団体や生産者に世代交代を呼び掛けることと  
している。

- ・対応者：北海道による公表につき取材なし
- ⑰ 農家の友 令和 5 年 3 月号（令和 5 年 2 月 22 日）
  - ・内容：中央農試遺伝資源部の業務<上>遺伝資源
  - ・対応者：中央農試 遺伝資源部 部長 神野裕信  
遺伝資源グループ 主査 植野玲一郎
- ⑱ 農家の友 令和 5 年 4 月号（令和 5 年 3 月 23 日）
  - ・内容：中央農試遺伝資源部の業務<下>種子生産
  - ・対応者：中央農試 遺伝資源部 部長 神野裕信  
遺伝資源グループ 主査 植野玲一郎